

千葉大学医学部附属病院

医療ビッグデータセミナー（入門編）
次世代医療構想センターによる支援

佐藤大介 博士（医学）・医療管理政策学修士
千葉大学病院 次世代医療構想センター 特任准教授

自己紹介

佐藤 大介 (さとう だいすけ)

専門：医療情報学・医療政策学・病院管理学

2006年 東京医科歯科大学大学院 医療管理政策学(MMA)

2012年 東京医科歯科大学大学院 医療政策情報学 博士 (医学)

DPCデータを用いた医療政策研究

東京大学医学部附属病院 企画経営部 助教

病院経営財務、診療情報分析、再開発事業を担当

レセプト情報等データベース(NDB)を用いた医療情報学研究

2017年 国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部 主任研究官

2018年 保健医療経済評価研究センター / 医療・福祉サービス研究部

NDBを用いた医療経済評価 / 地域医療構想に関する政策研究

**2019年 千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター
特任准教授・副センター長・政策情報分析部門**

<原著>

NDB 解析用データセットテーブルの開発

福田治久¹⁾, 佐藤大介²⁾, 白岩健²⁾, 福田敬²⁾

¹⁾九州大学大学院医学研究院医療経営学分野

²⁾国立保健医療科学院保健医療経済評価センター

The Development of Dataset Tables for NDB Analyses

Haruhisa Fukuda¹⁾, Daisuke Sato²⁾, Takeru Shiroiwa²⁾, Takashi Fukuda²⁾

¹⁾ Kyushu University Graduate School of Medical Sciences

²⁾ Center of Outcomes Research and Economics Evaluation for Health, National Institute of Public Health

抄録

目的：2011年度より第三者提供が開始されたレセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）の研究利用が不十分な状況にある。学術研究を加速化させ、エビデンスに基づいた医療政策を推進するためには、NDBの活用可能性を高めていく必要がある。本研究の目的は、臨床疫学研究および医療経済研究を行うのに有用性が高く、かつ、データ容量の効率性が高いNDB解析用データセットを構築することである。

方法：2009年4月から2016年12月の間の医科入院レセプトおよびDPCレセプトにおいて1度でも出現したことがある解析用患者IDを全データから無作為に25%分を抽出し、当該解析用患者IDの全期間における全診療行為情報を含む全レセプトデータを格納したNDBを用いた。臨床疫学研究および医療経済研究を行うのに有用性の高い解析用データセットを構築するための必要変数について検討した。ま

次世代医療構想センターによる支援

1. 支援内容

解析デザイン支援（オープンデータ・集計表情報）
運用管理規定等の作成に関する支援（集計表情報）

2. 次世代医療構想センターのデータ解析環境

3. 個別相談について

1. 解析デザインの支援

オープンデータ、集計表情報に関する支援

1. 研究で明らかにしたいこと（研究疑問）から、どのような集計表をイメージするか。

個別研究の打ち合わせを通じた先行研究の紹介

2. 研究計画書および解析計画書の作成支援

医薬品マスタ、診療行為マスタ等の共同利用

1. 解析デザイン支援 集計表情報に関する事例

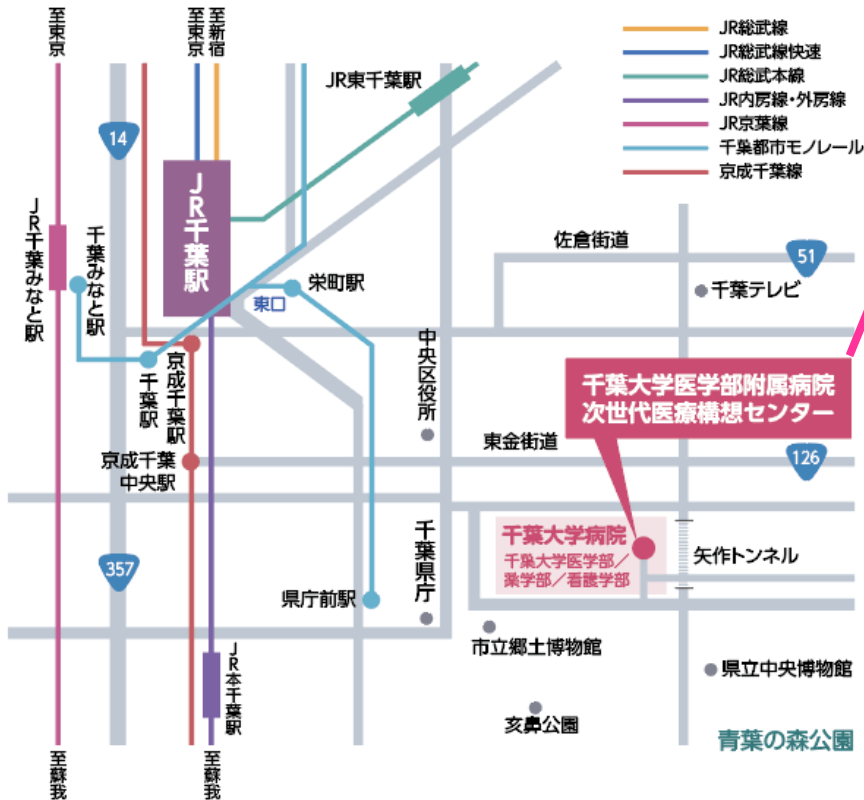
1. 傷病名〇〇の患者のうち医薬品▲ ▲の処方実態や
時系列推移を示す集計表情報を申請したい。
 2. レセプト件数だけでなく患者数や新規発症数を
同定した集計表情報を申請したい。
 3. 複数の集計軸による集計表を申請したい。
- ※ただし、今後は多次元・多数の集計表申出が不可

2. 運用管理規定等の作成に関する支援

千葉大学医学部附属病院

次世代医療構想センター

Center for Next Generation of Community Health



2.運用管理規定等に関する支援 集計表情報に関する事例

**NDBを保管する部屋はどこにすれば良いのか？
どのような部屋なら要件を満たすのか？**

**〇〇診療科の研究室（複数人が出入りする部屋）
でNDB集計表情報を扱いたい。申出書にどのような
規定や運用フロー図を記載すれば良いのか？**

2. 運用管理規定等の資料作成に関する支援 集計表情報に関する支援例

1. NDBを用いた臨床研究を行うためには、NDBの第三者提供の申請手続きが必要。
2. 申請手続きには、申出書に加えて、利用する場所や人に関する「**運用管理規定**」や「**運用フロー図**」等が必要。
3. NDBユーザー会と連携して策定済である当センター様式を基準に、**診療科に応じてカスタマイズ**

運用管理規定

別添 2-3^④

令和 2 年 7 月 1 日^④

匿名レセプト情報等の利用に当たっての運用管理規定^④

様式 1 に記載された研究に関する担当者・取扱者一同^④

1. 目的^④

本規定は、様式 1 に基づき厚生労働大臣より提供を受けた診療報酬明細書、調剤報酬明細書、特定健康診査及び特定保健指導の実施状況に関する情報と、それらの情報を集計処理した全ての情報について、情報セキュリティ及び情報保護の観点から担当者・取扱者が遵守すべき事項を定めたものである。^④

2. 適用範囲^④

厚生労働大臣から提供を受けた匿名レセプト情報等とそれを加工した以下の情報を対象とし、別紙に定める業務、部局、情報技術等に適用する。^④

- ・集計表情報：様式 1 に基づき厚生労働大臣より提供を受けた診療報酬明細書、調剤報酬明細書、特定健康診査及び特定保健指導の実施状況に関する匿名化後の情報をあらかじめ指定した形式で加工・集計し提供を受けた表形式の情報^④

運用フロー図

運用フロー図

〔運用管理規定〕の通り

別添 2-1

<想定する利用形態>

- NDBデータの取扱者は、様式1f7 匿名レセプト情報等を取り扱う者に記載されている担当者、取扱者に限定される。
- 厚生労働省保険局より提供を受けたレセプト情報等データは千葉大学医学部 x x x 〇〇研究室内の専用端末に保存する。
- 利用場所への入室は許可された人物のみ可能とする。
- 分析担当者(様式1f7 匿名レセプト情報等を取り扱う者)の取扱者は、加工・集計処理を施した中間生成物・最終生成物・成果物・帳票(紙)以下、中間生成物等)を作成し、分析等を実施する。これらを格納した外付けHDDは、利用場所内のキャビネットにて施設管理を行う。
- 様式1f7 匿名レセプト情報等を取り扱う者)に記載された取扱者は、厚生労働省の取扱者の公表許可及び保険局の審査を経て公表する。
- 分析用端末は様式1f7 匿名レセプト情報等を取り扱う者)に記載された取扱者は、記載された利用場所で利用、保管する。
- レセプト情報等のデータを保存するサーバや端末は外部ネットワーク(インターネット)へは一切接続しない。
- 研究終了後は、サーバ及び外付けHDDに保存されているデータを、専用のデータ消去ソフトにより完全削除する。

厚生労働省

匿名レセプト情報等(1次情報)の受け渡し ↓ データを受領(複写と内容確認の後に返却する)

千葉大学医学部附属病院 〇〇講座

保管・利用場所: 千葉大学医学部xxx〇〇研究室

番号式施錠による入室
原則、様式1に記載した利用者のみ。

端末に受領したデータを保存し、
分析・集計を実施

最終生成物は
公表審査を経て公表する。

【研究終了時】
サーバ内のデータは専用のデータ消去
ソフトで完全削除。提供媒体は裁断破壊

- ・施錠可能な専用部屋で入室管理(記録付)
- ・端末には盗難防止用チェーンを取り付ける
- ・外部および学内ネットワークに接続しない
- ・ID・パスワード設定(2ヶ月毎に変更)
- ・スクリーンセーバー設定
- ・ウイルス対策ソフト導入

- ・端末はワイヤー施錠
- ・分析用端末はスタンドアロンで構築し、いかなるネットワークに接続しない

α 常時ラックに格納しラックを施錠・固定する機器 β 本体を固定する機器 γ 帳票(紙)

3. 個別相談について

セミナー終了後、会場が許す限り個別相談の時間を用意しております。お気軽にお尋ねください。

オンライン参加の方々におかれましては、参加者が**1,000名**を超えており、個別相談が難しい状況です。

本セミナー終了後にアンケートにて個別相談を受け付けております。ぜひご回答をお願いいたします。

本セミナーの趣旨とスタッフの人的資源の理由から、千葉大学関係者を優先して対応せざるを得ないこと、何卒ご容赦ください。

次世代医療構想センターでは、NDB研究や政策研究に興味のある大学院生や研究員を募集しています。

byoin-jisedai@chiba-u.jp

<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/NextGeneration/>

研究
アシスタント
募集



次世代医療構想センター
Center for Next Generation of Community Health

次世代医療構想センターの研究活動に関する、データ分析、広報活動、研究補助などのお手いをしてくださる方を

大募集中です！

興味のある方はぜひご応募ください

前向きに取り組んでくださる方**大歓迎！**